

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル①	職員の育成に注力するとともに、意欲を高める取り組みもしている	
内容①	キャリアアップ資格取得研修が体系化されている。支援力向上のための研修や、職層別研修等について、事業所ごとに計画を立て、受講者を割り当てている。サービス管理責任者は一定の期間内に研修を受講することが必要であるが、一覧表によって計画的な研修が受講できるようにしている。業務との調整が図りながら、職員一人ひとりに必要な研修を受講できるようにしている。職員が資格取得する時は援助制度を利用することができる。また、事業に貢献した職員に対する報奨制度もあり、職員の意欲を高める取り組みもしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-3	利用者に関する記録が行われ、管理体制を確立している
タイトル②	職員間の情報共有により支援の充実を図っており、新たにシステムも導入している	
内容②	職員は、利用者の日々の様子を良く観察し、わずかな変化も気づくようにしている。アセスメントシートと個別支援計画書を支援の基盤としており、これらに沿った、利用者一人ひとりに必要な支援の提供に努めている。また、事業所では、クラウドの業務支援システムを導入したことにより、情報の迅速な共有と対応を可能にしている。アセスメント表や個別支援計画、支援記録等を組み込み、年2回の計画更新時に、重要な資料としてさらに活用を図っていく方針としている。職員間で必要な情報を共有し、利用者支援の充実につながるようにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-12	【就労継続支援B型】就労の機会の提供や、知識の習得及び能力向上のための支援を行っている
タイトル③	積極的な地域イベントへの出店や、施設等での出張販売で安定した工賃を確保している	
内容③	現在地で障害者のために立ち上げた事業所の歴史は20年と長く、パン工房やカフェ営業は、住民の利用も多く、地域に根付いたものになっている。店舗販売だけでなく販路拡大に取り組んでおり、各種イベントへの積極的な出店に加えて、関係機関に声をかけ、養護老人ホームや特別支援学校等に定期的な出張販売に出向いている。大規模商業施設等で地元産の物品を販売する「わくわく広場」にも定期的に出店する機会を得ている。店舗だけでなく、様々な機会を活用して外部販売に参加する利用者も増えており、安定的な工賃確保につながっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	地域との交流を積極的に進め、地域の祭りや小・中学生の見学や職業体験の受け入れ等で地域貢献にも取り組んでいる
	内容	地域イベントで、パンを販売しており、地域住民と交流を深めている。通りに面した事業所のカフェを、地域まつり行事に貸し出し、地域の賑わいの一つの拠点として活用されている。地域の小学校では、地域で働く体験の一環として事業所を活用してもらい、生徒たちにパン作り見学等、貴重な経験ができるようしている。同様に、中学校の職場体験で生徒を受け入れ、実践的な職場経験を通じて学びの場を提供している。長年の信頼関係が十分に培われており、事業所も地域貢献に積極的に取り組んでいる
2	タイトル	実習記録に基づく振り返りと評価を行い、利用者の納得を得た上で、円滑な利用開始ができるようにしている
	内容	利用開始前に、利用希望者全員に6日間にわたって実習をしてもらっている。この期間中、職員は、利用希望者の毎日の活動や進捗に関する記録を取っている。終了時に、振り返りのための面談を行っている。利用希望者本人と支援者が同席し、本人の作業について感想や、他の利用者との関係、今後の利用に関する希望等について聞いている。職員は、この面談結果に加え、作業評価を踏まえ、利用開始後の作業選択や個別支援計画を検討している。利用者に必要な支援を明確にして、本人の納得を得て、円滑に利用を開始できるようにしている。
3	タイトル	利用者の就労意欲を満足させるための作業創出や切り出し、利用者全員が事業所で充実した時間を過ごせるようにしている
	内容	事業所では、利用者の特性や能力等に合わせて提供できるよう、多様な作業を提供している。パン製造やカフェ作業においても細分化し、利用者ができる作業を創出している。製造過程においてもいくつもの工程を提供している。販売に関しても名札作成、出荷前作業等があり、パン製造にかかわりたい利用者の気持ちを考慮している。軽作業、事務作業、案内業務等、作業を細かく切り出し、利用者ができそうな作業を創出することで、利用者の就労意欲を向上させ、気力、体力を養いながら作業を通じて働くことが楽しみとなるようにしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	職員と利用者の双方にとってさらに働きやすい環境を築いていくことが期待される
	内容	事業所では、パンの製造販売を行っており、仕込み業務の特性からは早朝からスタートしている。さらに、地域のイベントでの販売には休日出勤が避けられなくなっている。作業や販売に関わる職員、利用者から、もっと余裕を持ってほしいという意見があり、負担感がみられる。実際の作業や販売をする職員や利用者からのサービスを維持向上させながら、利用者や職員の負担軽減が課題となっている。すでに取り組まされたものもあるが、今後さらにワークバランスにも配慮して、職員と利用者とはともに考え、負担の軽減が図られることに期待したい。
2	タイトル	現在作成しているマニュアルに加え、パン製造についてもマニュアル化に取り組んでいくことが期待される
	内容	事業所では様々な作業があり、それらに応じたマニュアル作成にも注力している。新しく始めたクッキー製造に関するマニュアルも作成し、利用者だけでなく職員も含め、購入者に満足してもらえる製品を生み出すことに力を注いでいる。ただし、看板商品であるパンについては、多様な種類と細かな作業工程が絡んでおり、現在はまだマニュアルが整備されていない状況である。しかし、食品としての重要性から、口頭だけでなくマニュアルを導入し、作業に関する共通認識を図り、高い品質を維持できるようにしていくことも期待される。
3	タイトル	定期的で開催されているメンバーミーティングについて検討し、利用者の意見交換の場として活用することが望まれる
	内容	毎月1回メンバーミーティングを開催して、司会進行を利用者が担っている。事業所からの報告、毎月の予定や作業のこと等、職員が作成したルビ付きの書面を読みあげている。利用者の参加率は高く、1階と2階に会場を分けて開催しているほどである。今後は、利用者が集まるこの機会を活用して、単に事業所からの報告会にとどまらず、利用者の意見交換の場としていくことが望まれる。皆の前で発言するのが苦手な利用者もいると思われるが、皆で話して決めたいこと、自分の考えなど何でもよいので事前に利用者から紙で提出してもらおうのも一案と思われる。